

つれづれなるまゝに 第5号

令和2年4月30日（木）発行



校長 深谷 浩一

休校延長にどう対応するか？（3）

～課題はメールでは送れません！～

第3号と第4号で休校中の対応について、「その準備として最も大切なこと」を皆さん方に二つお願いしました。一つは、「緊急情報用のメールアドレスへの登録」で、もう一つが「連絡受信用のメールアドレスの送信」でした。

（1）クラスごとのアドレスにも必ず登録を！

緊急情報用のメールアドレスへの登録については、ほぼ全員の登録が完了しているようです。というのは、学校からホームページで配信動画を伝えるメールを緊急情報で配信した日にはホームページへのアクセスが殺到するからです。たとえば、27日（月）と28日（火）に緊急情報メールを発信したところ、2日間で約1,600件のアクセスがありました。

このことから、本校生はほぼ全員の登録が完了しているものと考えていますが、この緊急連絡用のメールアドレスでは学校から個別にメールを送信することはできないし、生徒の方から緊急情報のメールアドレスに返信することもできません。ですから、学校と直接やりとりすることができるようにするためのアドレスをクラスごとに設定することにしたわけです。

現在全校生徒の約6割がこのアドレスにメールを送ってくれています。しかしながら現時点でこちらから一斉送信のメールを送ってもクラスの約4割の生徒には情報が届かないことになります。もうしばらく様子を見てクラスの8割以上が登録（実際には、クラスのメールアドレスに自分の氏名等を記入し送信）してもらえれば、連絡手段としてこのアドレスを使用できると思います。ただし、緊急連絡用アドレスと違い、一人の生徒につき一つのアドレスを登録してください。

（2）課題等のデータ配信は取り止めます！

前回配信した動画の中で「資料をデータとして送信することもありますので、パソコンやプリンターがあった方が良いでしょう。」と言いましたが、メール登録の際に皆さんのプリンターの利用環境を調査したところ、登録してくれた人の約半数が、資料をPDF等で送信してもプリンターを利用できないということがわかりました。生徒の皆さんの中には「現在プリンターが故障中のため使えませんが5月中旬までには購入できます。」というメッセージを送ってくれた人もいますが、今回は課題を配布する手段として、メールによる配信は取り止めることにしますのでご了承ください。

では課題をどうやって皆さんに届けるのか、5月7日以降の学校の対応はどうするのかなどについては、明日の動画でお話します。（つづく）